

現在、日本には実の親が育てることができずに保護が必要な子どもの数は約4万7千人です。虐待などにより人数が増加傾向にあることも問題ですが、うち90%が乳児院や児童養護施設で暮らすという割合の高さは、世界でも突出しています。

すべての子どもたちが幸せになるために必要なもの、それは「愛とふれあい」です。ぐるーんは、施設で暮らす子どもたちを幸せにするための“新しい絆”を提供します。

まずは、「家族と離れて暮らす子どもたちのための、家族を補完する“新しい絆”」。乳児院で子どもたちを抱きしめる「抱っこサポーター」の派遣や、児童養護施設でのイベントなどを通じ、施設の子どもたちと社会の大人たちとの間にあたたかな交流を生み、子どもたちがすこやかに成長する日々のお手伝いをします。

そして、「親との絆が完全に断られた子どもたちを迎え入れる“新しい絆”」。子どもたちが養親や里親と絆を結び、家庭的な環境の中で幸せに育つことが、ぐるーんの究極の目標です。

国連の「子どもの権利条約」は、子どもは家庭環境のもとで成長するべきだとしており、「施設よりも、できるだけ家庭で」が世界の流れです。しかし、日本の養子縁組の成立数や登録里親数はなかなか増えないのが実情です。

この問題を解決するうえでの課題は、おもに「里親制度や養子縁組制度の広報不足」「里親・養親と里子・養子の出会いの場の少なさ」「里親・養親と里子・養子の斡旋機能不全」「縁組後の養親へのサポート不足」の4つだと考えています。幅広い市民参加を呼びかけながら、企業や行政と積極的に連携しつつこれらの課題の解決に取り組み、親と離れて暮らす子どもが育つ環境を大きく改善させることを目指します。

ミッション実現に向けて、以下のような活動を進めています。

## 1 子どもたちが新しい絆を結ぶための土台づくり

☆里親制度や養子縁組制度の広報強化

施設に暮らす子どもたちの現状と、里親制度や養子縁組制度についての正確な情報を社会に広く伝えるため、シンポジウムなどのイベント開催やオンラインでの情報発信など、広報活動を積極的に行っています。

☆里親・養親と里子・養子の出会いの場の提供

子どもたちとの交流イベントや、施設へのサポーターの案内などを通じ、施設の子どもたちと社会の人々が出会う機会を増やします。

## 2 子どもたちと里親・養親との幸せなマッチングの実現

☆あっせんに向けた連携の強化

里親・養親と里子・養子のあっせん機能を充実させるため、施設職員、行政、弁護士らとの連携を深め、マッチングにかかる時間を短縮し、またミスマッチの防止をはかりつつ、社会全体で縁組を支える態勢の確立に向けた活動を深めていきます。

☆養子縁組あっせん事業（現在準備中）

☆縁組後の養親へのサポート

縁組後、定期的にサポーターを派遣するほか、交流イベントなどを通じ、子育て中の養親を孤立から防ぎ、専門的な見地から効果的なケアを継続することを目指します

## 3 新しい絆を得た子どもたちがより育ちやすい社会の実現

☆「家族」の再定義を提唱

活動を通じて育まれた、血のつながりを超えた“新しい絆”の意義を広く訴え、養子も里子も含めたすべての子どもたちの人権が尊重さ

れ、より幸せにすこやかに育つことのできる社会の実現を目指します

ご支援のほど、どうぞよろしくお願いいたします。

以上